

立茎時の茎葉充実の管理 8=S

◎本年産の立茎状況について

- ① 全般的に秋の養分不足により春芽低収や立茎時の親茎にもバラツキにより側枝や擬葉も小さく草勢低下です。
- ② 親茎の地際の茎径1.0に対し摘芯位置茎径は0.3です。
- ③ 先端部（摘芯位置）周辺のボリューム感に欠けています。

◎草勢強化対策について

- ① 地際茎径1.0に対し摘芯位置茎径0.5（理想 8=S）
- ② 茎葉にボリューム感が無い場合は葉面散布をします。
「二次側枝・擬葉の活性にコラーゲンラボ500倍や
クドグリーン500倍、バチルスプロ1000倍」
- ③ 貯蔵根の充実、根張り促進にアミクエ5~10kgや
ウルル10号10kgの灌水処理

